

て大人を対象にした英語の学習支援等にも取り組んできた。

しかし、住んでいるだけで英語に触れあえる環境の実現は一朝一夕には困難であるため、どのような取り組みができるか全庁的に検討していく。

先進的な取り組みで高齢者を守れ

【問】一人暮らし高齢者に対する従来の支援では、今後の加速度的な高齢化に到底対応できない。試行錯誤してでも先進的な対策に取り組むべきではないか。

【高齢者】どのような取り組みが不安解消に効果的か、第9期高齢者保健福祉計画策定時に実施した高齢者実態調査の結果等からニーズを探りつつ、介護事業者等の支援する側からの意見も聴き、他自治体の取組状況も踏まえ検討していく。

輝く未来のために教材費無償化を

【問】子育て環境の充実や教育に力を入れている足立区において、小・中学校の教材費無償化を実現させ、世論を動かすと同様に、国・都をも動かす先駆けになるべきと思うがどうか。

【教育指導】無償化には10億円超の財源が必要になり、ICT機器の更新等を進めていく必要がある現状において、学用品の完全無償化は困難であると考え、引き続き、保護者の負担軽減について検討していく。



足立区議会議会改革を全力で推し進める会

全家庭に届く子育て支援を
高すぎる介護保険の低減を

議会議改革推進 土屋 のりこ 議員



生きる力の土台を守れ!

【問】言語能力は学力の基盤であり、自己実現を図るベースともなるが、親の働きかけや育児スキル、自身の生活経験の差によって、子どもたちの国語力の格差が広がっている。「子どもたちの国語力が殺されている」とまで指摘されている現状を区長はどう受け止めているのか。

【区長】子どもたちの国語力が厳しい状況であることに驚愕している。区の現状については、現場の教員から話を聞いて明らかにし、改善が必要であれば力を合わせていきたい。

生活に苦しむ区民を救う手立てを

【問】物価高が続く今、介護保険料の支払いはたとえ千円であっても苦しい状況である。介護保険料を支払う全ての中・低所得層に何らかの形で負担を低減する必要があると思うがどうか。

【高齢者】生計困難者等へ区独自の負担軽減制度を実施しているため、新たな負担軽減策を実施する考えはない。

誰ひとり、食に困らないまちへ

【問】区のフードパントリーへの補助事業は、食に困る子どもや家庭への間接的支援策として開始当初は画期的であったが、現在は他区に比べ精彩を欠く。改善すべきと思うがどうか。

【未来】区の補助内容の見劣り

日本維新の会足立区議団

区民の命を守るため、防災訓練にて自衛隊との連携を

日本維新の会 野 沢 てつや 議員



統廃合後の学校の有効活用を

【問】少子高齢化による児童・生徒数の減少に伴い、区内でも学校の統廃合が行われている。一方、区内の福祉施設、特に特別養護老人ホームは圧倒的に不足しており、多数の待機者がいるため、統廃合予定の学校等を特別養護老人ホーム等、別の用途へ転用してはどうか。

【総務】現在、学校を統廃合する際に特別養護老人ホームへ転用する計画はない。地域ニーズや区の課題解決に資する用途を検討し、一校一校最終的な活用方法を判断していく。

外国人の収納向上策を!

【問】外国人に対する手続きのワンストップ窓口が必要であると同時に、国民健康保険料等の収納強化窓口の設置が必要と考えるが、その計画はあるか。

【区民】先進自治体の事例を調査・分析し、外国人に対する収納率の向上策を検討していく。

災害時の区民の安全のために

【問】地域の避難所運営訓練に参加した際、実際の災害発生時に避難する訓練として現実的なものなのか疑問が残った。今後の避難所運営訓練等においては、自衛隊と連携し、実際の経験や訓練に基づく談話を取り入れることで、より現実的な訓練になると思うがどうか。

無党派会

気づきを共に誇れる街に!
子供と大人をつなぐ足立へ

無党派会 加地 まさなお 議員



災害時のリスクを減らすために

【問】令和6年5月に行われた東京消防庁・足立区合同総合水防訓練において、自衛隊の役割の重要性を改めて認識した。自衛隊の啓発、啓蒙活動を積極的に行うべきと思うがどうか。

【危機管理】引き続き自衛隊東京地方協力本部足立地域事業所と連携し、積極的に自衛隊の啓発、啓蒙活動に取り組んでいく。

空からの災害支援策の拡充を

【問】①震災時は車両の運行不能が想定され、屋上へのヘリポートや屋上へ荷揚げ可能な昇降設備を設置すれば、あらゆる災害に対応できると思うがどうか。②大型ドローン等での物資輸送が可能になることは最大の強みになると考えるがどうか。

【危機管理】①空からの輸送は有用な手段と考えるため、必要性や実現可能性について基本計画の中で検討する。②物資輸送可能な大型ドローンを保有していないため現時点では計画していないが、将来における活用を想定するかについては、専門家の意見を聴いて基本計画に反映するか検討していく。

教科用図書採択の適正化を求める

【問】足立区立小・中学校の歴史教科用図書採択について伺う。①教科用図書を選定する上で、学習指導要領や教育基本法にあ



る「我が国と郷土を愛する」という観点は必要不可欠であり、調査報告書を作成する上で必須と考えるが、区の見解を伺う。②足立区の小学校では「わたしたちの足立」等を通して「郷土を愛する」教育が行われていることは理解するが、「我が国を愛する」という観点を踏まえる」と、採択要領にある「目標等を最もよく踏まえている教科用図書を選定する」から逸脱していると考えがどうか。

【教育指導】①文部科学省の検定に合格した教科用図書は、学習指導要領に示されている「伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する」ことについて網羅されているものと認識しているため、新たに「我が国と郷土を愛する」との項目を調査報告書に追記する予定はない。

②教科用図書は全て文部科学省の検定に合格したものであり、「我が国を愛する」との目標から逸脱しているとの認識はない。